

令和 3 年度

事務事業評価表 (令和 2 年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名			学校活性化非常勤講師配置事業				事業区分		担当	
政策体系			政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020102000157
総合計画の施策名			0201	学校教育の充実			単独/補助	単独	所属課	090101
政策名			02	生きがいを育む学びのまちづくり			学校教育課			
施策名			01	学校教育の充実			課長名			
手段名			02	②教育体制の充実			グループ			
						担当者名				
			財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目			会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
			01	10	01	02	02	00	事務局事業	
法令根拠			桜川市学校活性化支援非常勤講師取扱要項							
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)										
							単年度繰返し (平成17年度~)			
							期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
学校活性化非常勤講師配置事業は、国の少人数指導加配 (常勤講師) や小規模校加配として、県費において加配教員が市内学校に配置されているが、規定により配置のない市内学校に対し、市独自に市費を投じて、非常勤講師 (TT非常勤講師) を配置している。 市独自の配置によって、すべての学校で、チーム・ティーチングによるきめ細かな学習指導を行うことができる。	非常勤講師任用事務手続き、毎月の勤務状況確認、賃金等の支払事務。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
非常勤講師任用事務手続き、毎月の勤務状況確認、賃金等の支払事務、事業計画書提出、県への補助金申請、実績報告書の提出。	TT講師 配置校	校	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00
	TT講師数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
配置校の児童生徒	配置校の児童・生徒数	人	308.00	274.00	119.00	300.00	300.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
児童生徒一人一人に対応したきめ細かい指導を目的とする	チーム・ティーチングにより指導を行った時間数	時間	1,070.00	1,015.00	1,276.00	1,276.00	1,276.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	2,092	2,365	2,323
	事業費計 (A) 千円	2,092	2,365	2,323	
正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	

02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
01 報酬	2,286	01 報酬	2,244
08 旅費	79	08 旅費	79
合計	2,365	合計	2,323

事務事業名	学校活性化非常勤講師配置事業	事務事業No.	20102000157	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 国の緊急雇用創出特別交付金を活用して開始された。平成17年度からの県の補助事業（経費の1/2が市費）により実施している。 状況の変化：平成17年度から県の補助事業（経費の1/2が市費）により実施している。また平成21年度をもって「TT特別配置事業」は廃止され、市費単独の「学校活性化支援事業」として同様の活動が行われることとなった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 少人数学級指導に対する要望が多い中で、学校関係者からの期待は高い。年々、非常勤講師の確保が難しい状況となっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ティームティーチングでの指導により、きめ細かな学習指導を行うことができることは、教育体制の充実を図り、学力の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童生徒の学力向上に対する支援は、市の責務である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 適切な学習指導に努めている。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 児童生徒一人一人に対するきめ細かな指導を行うことができなくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない TT講師の管理業務であり、削減の余地はない。また、非常勤講師の確保も困難である。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 児童生徒の教育環境の充実を図るため、子どもに応じたきめ細かな学習指導は適切なものである。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	国の少人数指導加配措置のない小中学校に対し、ティームティーチングによるきめ細かな学習指導を行うため、桜川市学校活性化支援非常勤講師取扱要項に基づき、TT講師を任用している。現状では、県費負担による少人数加配枠の常勤講師について、全校に配置できていないこともあり、今後においても事業の継続を予算要望していきたい。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 基本的に加配がつかない小規模校に配属しているが、年々児童生徒数が減少に伴い学級数が減ることで教職員数も減っている。 児童生徒に対してきめ細やかに学習指導を行うためにTT講師の増員をすることが考えられる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認